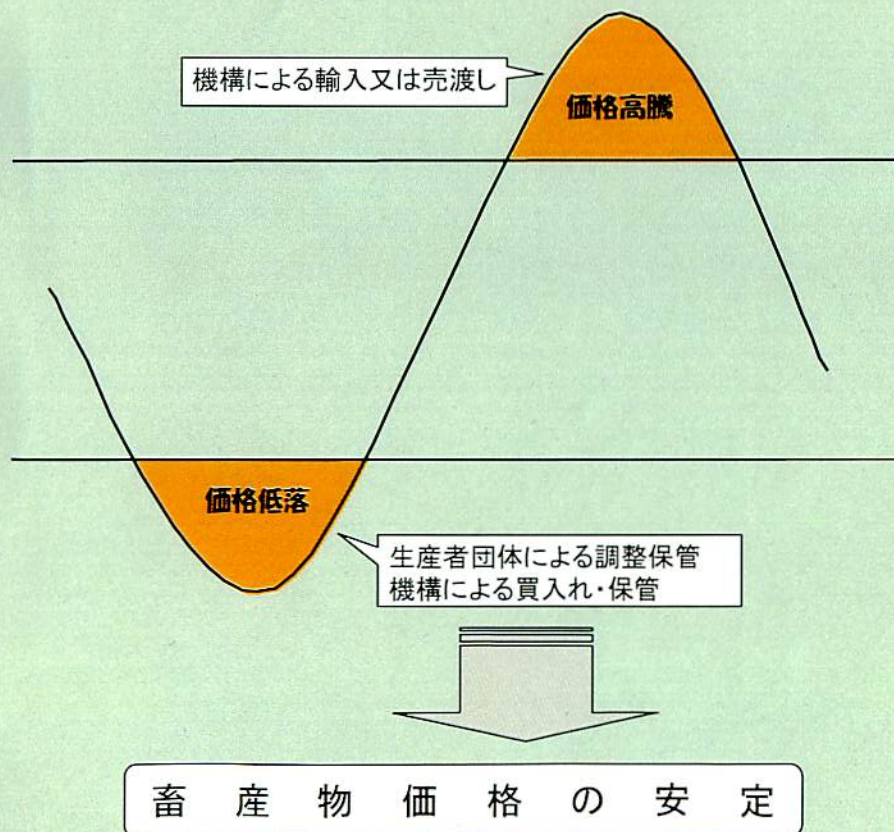


# 畜産関係業務の内容

## ○畜産物の価格安定に係る業務

- ① 乳製品価格の安定を図るため、乳製品の輸入、売渡しを実施。
- ② 食肉価格の安定を図るため、食肉の買入れ、売渡しを実施。
- ③ 生産者団体による調整保管経費について補助。



## ○畜産業の振興に資するための事業等に対する補助

生産・流通・消費の各段階で、生産振興、流通の合理化、衛生、環境対策、食の安全対策などの事業に必要な経費並びに学校給食用牛乳の供給の合理化、消費量の拡大などに必要な経費について補助。

### ○19年度における事業の内容

- ・生乳の需給安定対策
- ・肉用牛対策
- ・飼料対策
- ・環境対策
- ・養豚対策
- ・食肉流通対策
- ・学乳対策

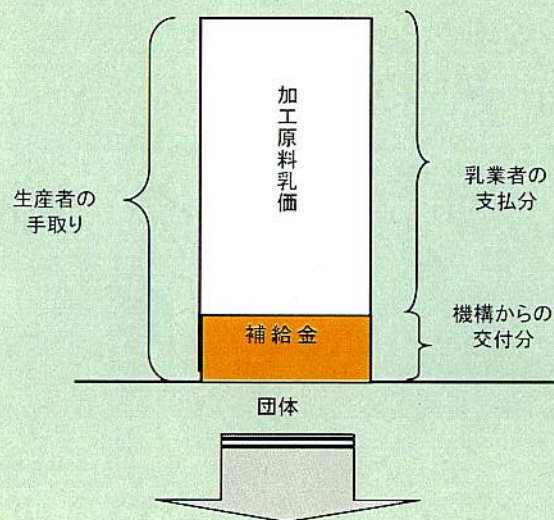
等

- 
- ・競争力の高い生産構造の確立
  - ・畜産物の製造・流通・販売コストの低減・合理化
  - ・消費者ニーズに対応した国産畜産物の生産・供給体制の構築
  - ・小・中学校等の児童・生徒の体位・体力向上



### ○加工原料乳生産者補給金の交付

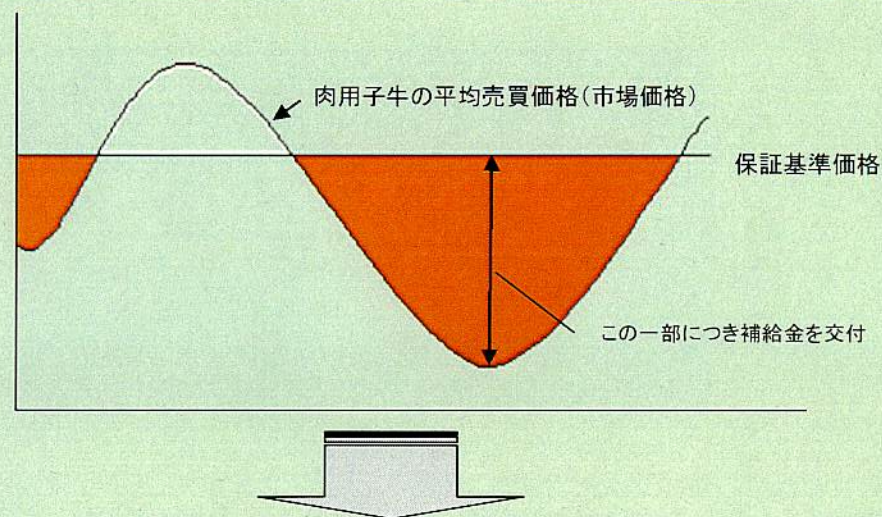
酪農経営の安定などを図るため、飲用牛乳向けに比べて価格が安いバターや脱脂粉乳等の乳製品の原料となる生乳の生産者に補給金を交付。



加工原料乳地域の生乳の再生産の確保

### ○肉用子牛生産者補給金の交付

肉用子牛生産の安定を図るため、肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、肉用子牛の生産者に補給金を交付。



肉用子牛の再生産の確保

### ◎畜産物の生産及び価格等に関する情報収集と提供

国内外の情報を収集・整理し、消費者、関係業界等に幅広く提供。

国内情報：畜産物・子牛価格、食肉在庫、先進的生産活動、消費動向、新技術 等  
 海外情報：自然災害・家畜疾病の発生、畜産物・飼料穀物需給、バイオ燃料化の動き 等

国内外の情勢の変化に対応した的確な畜産物の生産・加工・流通・輸出入の確保



# 野菜関係業務の内容

野菜生産は、天候に左右されやすいことに加え、保存性が乏しく、生産量・価格が変動しやすい特性

豊作により野菜の価格低落が続くと、



所得確保ができず、  
作付け意欲が低下



作付面積の減少



価格が高騰



国内生産が加工・業務用需要に応え  
きれておらず、輸入野菜が増加



自給率目標達成のため、加工・業務  
用野菜の国産シェアの拡大が必要



契約取引の推進

(実需者側)  
消費者ニーズに対応した、おい  
しい、味が安定した野菜の安定供給

(生産者側)  
担い手の農業経営の安定化



## ○ 価格安定制度

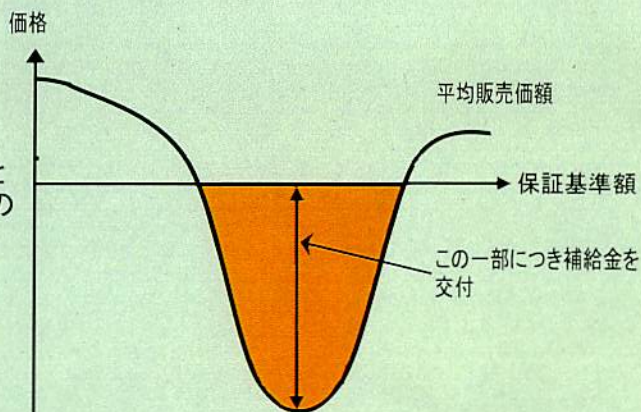
・ 野菜の価格が著しく低落  
した場合に、生産者補給金  
を交付。

## ○ 需給調整対策

・ 価格高騰時には出荷の  
前倒し等。  
・ 価格低落時には出荷の  
後送り、市場隔離等。(価  
格低落の長期化を回避)

⇒ 次期作の確保と  
消費者への野菜の  
安定的な供給。

【価格安定制度の仕組み】



注：補給金の交付には限度が設定

## ○ 契約取引制度

・ 不作時に契約数量を確保で  
きない場合等に産地が負うリ  
スクを軽減するため、生産者補給  
金を交付。



契約取引を推進し、  
担い手の経営安定と  
消費者への野菜の安  
定的な供給。

## ○ 情報収集提供

・ 野菜の安定的な供給を行う上で必要な国内外の生産状況や価格等についての情報収集と提供。



野菜の生産出荷の安定と消費者への安定供給の確保